

科目名 Course Name	ゼミナール I (公務員) Seminar I				ナンバリング No.	A1-017	
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	藤田 蘭丸						
連絡方法	C-Learning に対応、教室、非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>本科目は、社会に出て直面する行政の実態に関する知識や、公務員を志望する学生が理解しておくべき行政の視点、考え方について学ぶとともに、現代行政が抱える課題の把握や分析を行うことで、実際の職務に活かせる力を養成する。</p> <p>①公務員として必要な知識を習得する。 ②論理的に思考することができるようになる。 ③現代社会が抱える諸問題を的確に把握し、多角的な視点から論じることができるようになる。</p>						
授業の方法	ディベート、グループワークなどを含む演習形式で行う予定であるが、履修者数によっては講義形式とする。						
学習成果	L01	テーマについての報告・議論を通して、主体的に問題発見と対応策の提示ができる。					
	L02						
	L03	学んだ知識をもとに、複雑な社会的事象を論理的に読み解くことができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業のなかで対応する。						
教科書/ 参考図書	<p>【教科書】初回授業時に指示する。</p> <p>【参考図書】必要に応じて講義中に提示する。</p>						
履修上の留意点 やルール等	<p>ゼミナール形式を取るため、受講者には一定の頻度で報告をしてもらったり、発言を求めたりすることになる。したがって毎回の講義に際しては、十分な自己学習の上で真剣に取り組む姿勢が強く求められる。シラバスは講義とグループワークの併用例を記載しているが、履修者数や受講者の希望によって授業方針等を決めるため、授業計画は変更となる場合がある。授業方針等の決定のため、履修予定者は初回授業に必ず出席をすること。やむを得ず初回授業を欠席する場合は必ず事前に連絡をすること。なお、成績評価の対象となるためには3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	グループワークなどへの積極的な発言などから判断する。	20		20	
レポート/作品					
発表	主に到達目標②③にかかわる政策分析上の視点が身についているかを評価する。	30		30	
小テスト					
試験					
その他					
合 計		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、今後の授業予定の決定、受講者の確定、グループ分けなど
	事前・事後学習	希望する公務員の職種や試験科目などを確認しておくこと。
2	授業内容	行政とは何か
	事前・事後学習	大学にはどの程度公的な補助が行われているのか調べる。
3	授業内容	政府とはなにか
	事前・事後学習	学生生活における集合行為問題の例を考える。
4	授業内容	国と自治体の仕組み
	事前・事後学習	議院内閣制と大統領制の特徴を整理する。
5	授業内容	中央省庁と自治体の組織
	事前・事後学習	中央省庁や各自治体の組織構造について整理、確認する。
6	授業内容	公務員とは何か
	事前・事後学習	公務員という仕事のやりがいについて考える。
7	授業内容	行政改革
	事前・事後学習	行政組織改革の手法について、具体例を用いて説明できるようにする。
8	授業内容	公共政策と行政
	事前・事後学習	自身の関心のある公共政策について、どのような問題への対応であったのか調べる。
9	授業内容	立法過程と条例制定過程
	事前・事後学習	自身の居住している自治体で作成された自主条例について調べる。
10	授業内容	予算と行政
	事前・事後学習	地方交付税制度の意義、役割について調べる。
11	授業内容	政策研究と政策分析
	事前・事後学習	自分の調査する公共的問題について、調査・報告の準備を進める。
12	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション
	事前・事後学習	政策課題について資料を収集する。
13	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション
	事前・事後学習	プレゼンテーションに向けて、資料の整理、作成、発表練習をする。
14	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション
	事前・事後学習	政策課題について資料を収集する。
15	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション
	事前・事後学習	プレゼンテーションに向けて、資料の整理、作成、発表練習をする。